

一般社団法人日本解剖学会 2024(令和6) 年度第4回常務理事会議事録

日 時：2024(令和6)年9月21日（土）13:00～16:40

場 所：一般財団法人口腔保健協会 3階 302会議室

出席者：寺田 純雄（理事長）、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2024(令和6)年度第3回常務理事会（2024(令和6)年6月29日開催）議事録（案）
- (2) 2024(令和6)年度第2回理事会（e-mail会議）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和 6年 6月分

入会者 正会員 5名、学生会員 0名

退会者 正会員 2名、学生会員 0名

・令和 6年 7月分

入会者 正会員 2名、学生会員 1名

退会者 正会員 5名、学生会員 2名

・令和 6年 8月分

入会者 正会員 2名

退会者 正会員 1名、名誉会員 1名

・逝去会員

横地 千仞 氏（神奈川歯科大・名誉教授／名誉会員）令和6年8月4日逝去（満105歳）

・新規就任教授

寺井 健太 氏（徳島大・医・顕微解剖学・教授） 令和5年12月1日就任

畠山 雄次 氏（東北大・歯・口腔器官解剖学分野・教授） 令和6年4月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り到着した文書の報告があった。

通知・依頼：（一社）日本医学会連合より「（周知依頼 内閣府 健康・医療戦略推進事務局）第7回日本医療研究開発大賞の公募開始について」 他49件

書籍・定期通信 他：（公社）日本麻酔科学会より「Journal of Anesthesia Volume38 No.3」 他9件

(3) 2024(令和6)年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、4名の申請があったことが報告された。

(4) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、第22期第3回運営委員会（2024年8月30日）の内容などが報告された。

(5) 「若手研究者の会」報告について

資料に基づき、解剖セミナー参加旅費支援事業の状況、APPW2025での若手の会企画の準備状況、解剖学雑誌99巻2号への活動報告の掲載予定などについて報告された。

(6) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌99巻2号ならびにASI99巻4号が2023年9月末日に会員に発送予定であること、また今後ASI100巻1号が刊行予定であることなどが報告された。

(2) ASIにおける2023年インパクトファクターについて

資料に基づき、2023年のIFや過去のIFの推移について報告された。また、2025年度からの日本郵政「特約ゆうメール」廃止に伴い、安価な送付方法が使用できなくなる旨、事務局より報告がなされた。対応策として学術刊行物方式での発送に代替する案がだされたが、ASIが学術刊行物の指定を取得できていないため、通常の定形外郵便で発送するしかない＝来年から送料が増加する見込みとなるため、対応について検討していくことが報告された。

(3) 解剖学雑誌・連載『解剖学者の肖像』座談会について

資料に基づき、8月22日に開催された座談会の経緯や参加者、ならびにその内容が解剖学雑誌100巻1号に掲載予定であることが報告された。

(4) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2024(令和6)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、両賞の募集の内容、および募集中であることが報告された。

(2) 2024(令和6)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、1名の応募者に対して、9月21日に試験実施されたことが報告された。

(3) 二級認定技術者審査結果について

前回常任理事会以降、申請が0件であったことが報告された。

(4) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会終了報告

資料に基づき、第129回総会・全国学術集会（会頭：琉球大・高山千利氏、会期：2024年3月21日～23日）の収支決算報告書の内容が報告された。

(5) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第130回総会・全国学術集会の概要（日程表、シンポジウムのタイトル、アワードなど）が報告された。また、演題の募集が開始されていることも報告された。

(6) 2028(令和10)年度第133回総会・全国学術集会開催校募集について

資料に基づき、応募の状況が報告された。

(7) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、2024年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会（2025年2月28日開催予定）の開催内容が報告された。

(8) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、文部科学省の「博士人材活用プラン～博士をとろう～」の方針と生科連としての賛同の方向性、および解剖学会が送った回答について報告された。また、内閣総理大臣・文部科学大臣等に発出された「科学研究費補助事業の全体額増加に関する要望書」の内容が報告された。

(9) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、連合代表の選出に関して報告された。

(10) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下が報告された。

・ KAA（韓国解剖学会）：

2025年の相互交流はJAA-KAA国際交流協定に基づき、JAAからKAAへの派遣となること

・ APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）：

2027年の日本での開催の可否について検討していること

・ IFAA（国際解剖学会）：

第21回IFAA（2024年9月5日～8日開催、韓国）の開催概要

(11) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、第1回CST事業の法人設立準備委員会（2024年9月4日開催、寺田理事長、大和田常務理事、尾崎常務理事出席）の議事が報告された。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2024(令和6)年度中間決算書について

資料に基づき、2024（令和6）年度中間決算書（1月1日～8月31日）について報告された。また、第21回IFAAへの日本解剖学会会員の派遣の費用は、本会計海外交流関係費から支出することが報告された。

(2) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) CST関連対応

資料に基づき、第1回CST事業の法人設立準備委員会（2024年9月4日開催、寺田理事長、大和田常務理事、尾崎常務理事出席）において、法人が進める事業の内容を適切に反映するための法人の名称案や、解剖学会ならびに篤志解剖全国連合会の意向が反映される枠組みの構築、適切な会費分担の仕組みなど、解剖学会理事長として提言した内容が報告された。

(2) 全国学術集会担当校間の申し送りシステムの構築について

資料に基づき、事務局から第131回全国学術集會会頭・岡部正隆氏（慈恵医大）へ協賛企業の情報などを提供したことが報告された。また、第130回全国学術集會からの申し送りの日程等を調整していることも報告された。

(3) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、2024(令和6)年6月1日から8月31日までに入会申請のあった正会員9名、学生会員1名について審議の結果、全員の新規加入が認められた。

2. 教授就任による代議員について

前回常任理事会以降、該当者なしであることが報告された。

3. 次期代議員・役員選出選挙について

資料に基づき、2025・2026年度役員選出選挙の流れを確認し、承認された。新旧合同理事会の開催日については、1月25、26日を候補として都合伺いを行うことが承認された。

4. 休会申請について

資料に基づき、休会申請 1 件が承認された。休会できる期間は最長で3事業年度であることが確認された。

5. 基本財産運用方針の確認について

資料に基づき、10月に満期を迎える基本財産の運用について、これまで通り1年の定期預金で運用することが了承された。

6. APPW2025における託児所開設費用について

資料に基づき、APPW2025における託児所開設費用（50万円）を、若手育成支援予算の増額により支出することが了承された。

7. 若手、国際交流、学会経費等支援の在り方について

資料に基づき、若手、国際交流、学会経費等の在り方について、種々議論を行い、予算の上限を決めた上で若手研究者の会にどのような支援を希望するかについて意見を求めることとなった。支援を行う際には、様々な背景の人、特に、困っている人に支援が行き渡るように考える必要がある、という意見がだされた。

8. その他

次回の常務理事会および理事会の日程は下記の通りとなった。

2024(令和6)年12月21日（土）

常務理事会 10:30－13:30、理事会 14:00－17:00（開場13:30）